Creative Enzymes®

大腸菌由来グリコーゲン分岐酵素、組換え型

Cat. No. NATE-1208

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	グリコーゲン分岐酵素は、グリコーゲンの合成中に成長するグリコーゲン分子に分岐を追加する酵素です。より具体的には、グリコーゲン合成中に、グルコース1-リン酸分子がウリジン三リン酸（UTP）と反□して、活性化されたグルコースの形であるUDP-グルコースになります。UDP-グルコースの活性化されたグルコシルユニットは、その後、グリコーゲンの末端残基のC-4のヒドロキシル基に転送され、α-1,4-グリコシド結合を形成します。この反□はグリコーゲン合成酵素によって触媒されます。重要なことに、グリコーゲン合成酵素はα-1,4-グリコシド結合の合成のみを触媒することができます。グリコーゲンは容易に動員可能なグルコースの貯□形態であるため、□張されたグリコーゲンポリマーはグリコーゲン分岐酵素によって分岐され、グリコーゲン分解酵素（例えば、グリコーゲンホスホリラーゼ）に迅速な分解のための多数の末端残基を提供します。分岐はまた、グリコーゲンの溶解度を重要に□加させ、浸透□の強度を減少させます。
別名	分岐酵素、アミロ-(1,4→1,6)-トランスグリコシラーゼ; Q-酵素; α-グルカン分岐グリコシルトランスフェラーゼ; アミロース異性化酵素; 酵素的分岐因子; 分岐グリコシルトランスフェラーゼ; 酵素Q; グルコサン・トランスグリコシラーゼ; グリコーゲン分岐酵素; 植物分岐酵素; α-1,4-グルカン:α-1,4-グルカン-6-グリコシルトランスフェラーゼ; デンプン分岐酵素; 1,4-α-D-グルカン:1,4-α-D-グルカン 6-α-D-(1,4-α-D-グルカノ)-トランスフェラーゼ

製品情報

由来	エシェリキア・コリ株 K-12 サブストレイン W3110
形態	3.2 M 硫酸アンモニウムで供給されます
EC番号	EC 2.4.1.18
CAS登□番号	9001-97-2
分子量	88157.0 Da
純度	> SDS-PAGEによって判断された95%
活性	15.44 U/mg
濃度	45.58 U/ml
単位定義	1単位は、反□混合物が41.7 mMのリン酸ナトリウム緩衝液（pH 7.5）中に3.33 mg/mLのデンプンを含むときに、1.0吸光度単位の低下を引き起こすのに必要な酵素の量として定義され、各時間点で0.24 mLの反□混合物が取り出され、660 nmでの測定の直前に1.0 mLの脱イオン水と0.2 mLのヨウ素試□と混合されます。

使用法とパッケージング

調製方法	使用前に酵素沈殿を完全に均一化するために、ボトルを十分に振とうしてください。2 mg/mL BSAを含むpH 7.5の50 mMナトリウムリン酸緩衝液で希釈します。水で希釈しないでください。

保管・発送情報

保存方法	4°Cで保管してください（常温で出荷されます）